



も く じ



タイムリーな話題

子ども参観日を実施しました（総務課・生涯学習課）	2
ふれあい活動高校生のつどいを開催しました（学校教育課）	3
平成27年度巡回公演（演劇）を実施しました（生涯学習課）	4
とちぎ子どもの未来創造大学が開校しました（生涯学習課）	5
第77回国民体育大会栃木県準備委員会第2回総会が開催されました（国体準備室）	6

お知らせ

栃木県奨学のための給付金（公立）について（総務課）	7
文書館常設展の展示替えについて（文書館）	7
人権に関する作文・イラストを募集します（総務課）	8
平成27年度とちぎっ子学習状況調査の結果（速報）及び今後の取組について（学校教育課）	9
スクールカウンセラーの募集について（学校教育課）	9
平成28年度栃木県立中学校生徒募集について（学校教育課）	10
高等特別支援学校の校名案が決まりました（特別支援教育室）	11
県立図書館からのお知らせ	12
芳賀青年の家からのお知らせ	14
太平少年自然の家からのお知らせ	15
とちぎ海浜自然の家からのお知らせ	16
なす高原自然の家からのお知らせ	18

シリーズ

とちぎの歴史街道ものがたり（文化財課）	20
県埋蔵文化財センターの一品（埋蔵文化財センター）	21





子ども参観日を実施しました

教育委員会では、8月10日（月曜日）に、事務局職員の子どもたちが親の職場を訪れ、働く姿を見学したり、仕事を体験したりすることで職業観や勤労観を育む「子ども参観日」を実施しました。

当日は、親と一緒に通勤体験をしたり、親の仕事をする姿をそばで見たり、簡単な仕事を手伝ったりした後、県庁舎の見学をしました。

子どもたちからは、普段とは違う親の姿を見て「家にいる時よりもかっこよかった」「大変そうだなと思った」などの声が聞かれました。

また、参加した子どもたちの親は、親学習プログラムを受講しました。受講した親からは「学んだことをこれから家庭で生かし、実践していきたい」などの声が聞かれ、親子にとって良い経験となった1日でした。



通勤体験をしました



オリエンテーション



課長と名刺交換をしました



仕事の説明を聞いたり、仕事体験をしたりしました



県庁見学をしました



とちまるくんの職場に行きました



とちまるくんと名刺交換をしました

【問い合わせ先】 総務課教育政策担当 TEL 028-623-3360
生涯学習課ふれあい学習担当 TEL 028-623-3404



ふれあい活動高校生のつどいを開催しました

平成27年7月24日（金曜日）に、栃木県教育会館・とちぎ青少年センター（アミークス）を会場として「ふれあい活動高校生のつどい」が開催されました。（主催：栃木県教育委員会／栃木県高等学校教育研究会生徒指導部会）

1986年（昭和61年度）に「高校生の体験発表」としてスタートしたこの「つどい」は、高校生が日ごろから取り組んでいる様々な活動の成果を発表したり、学校生活を過ごす上での課題などについて互いに意見を交換したりすることによって、豊かな人間関係を築くとともに、それらの活動を一層活発にすることをねらいとしています。今年で30回目を迎え、県が目指す「心の教育」の推進にも重要な役割を果たしています。生徒実行委員が企画を含め事前の準備や運営を行い、当日は高校や特別支援学校高等部の生徒、保護者など約1,000人が参加しました。

（1）オープニング

国分寺特別支援学校による和太鼓演奏

「いちばん太鼓」「ほうねん太鼓」の後、生徒実行委員長あいさつ、県教育委員会教育長あいさつ、高校生による開会宣言で幕を開けました。



（2）ふれあい活動体験発表

オープニング（和太鼓演奏）

宇都宮工業高校「『サキュールシャワー』商品化への取組み ～自然エネルギーを活用した住宅設備の技術開発～」、今市高校「二宮堀クリーン大作戦」、宇都宮南高校「私と太極拳との関わり」、高根沢高校「高根沢町創生VISION ～七色の虹に想いを込めて（高根沢焼ちゃんぽん）～」、那須拓陽高校「那須塩原市PR大作戦～笑顔でつなぐ地産地消～」、宇都宮中央女子高校「Let's DANCE」について発表がありました。今自分たちができること、仲間と共に意欲的に取り組んでいることを堂々と発表する姿は、会場内にさわやかな感動を与え、大きな拍手が送られました。



ふれあい体験発表（左から、今市高校、宇都宮南高校、那須拓陽高校）

（3）ふれあい交流

午後からは3つの会場に分かれ、シンポジウムⅠ（高校生活）「情報モラルについて」、シンポジウムⅡ（国際理解）、シンポジウムⅢ（福祉）「福祉について考えよう」というテーマで、それぞれ活発に生徒相互の意見交換が行われました。



シンポジウムⅠ「情報モラルについて」

(4) エンディング

発表校への表彰と講評、参加者全員の心をひとつにした合唱の後、「つどい宣言」により締めくくられました。参加した高校生は、互いのつながりを深めていくことにより、この経験をもとに、今後さらに自己の可能性を高め、「ふれあい」の輪を広げていくことでしょう。



エンディング（合唱）

【問い合わせ先】 学校教育課高等学校教育担当 TEL 028-623-3382



タイムリーな話題

平成 27 年度巡回公演（演劇）を実施しました

平成 27 年度巡回公演（演劇）の今年の演目は「ルーマニア民話」を元にした「もっと食べたい！」という食いしん坊の雄鳥の話です。5 校 793 名の児童が各学校の体育館で演劇を楽しみました。

- 1 主 催 栃木県教育委員会、宇都宮市教育委員会、鹿沼市教育委員会、市貝町教育委員会
- 2 公演団体 一般社団法人 日本教育演劇道場 劇団「らくりん座」
- 3 演 目 「もっと食べたい」（ルーマニア民話より）
- 4 公 演 数 3 公演
 - (1) 平成 27 年 5 月 11 日（月曜日） 鹿沼市立西小学校（全学年）
 - (2) 平成 27 年 5 月 12 日（火曜日） 宇都宮市立岡本小学校（全学年）
 - (3) 平成 27 年 5 月 19 日（火曜日） 市貝町立小学校合同開催（会場：市貝小）
（市貝小学校、赤羽小学校、小貝小学校各 4 ～ 6 学年）



主人公の雄鳥。

けちで意地悪なお金持ちの金貨や雄牛や雌牛をみんなお腹に入れてしまい、かわいがってくれた貧しい老夫婦の元に帰ります。

平成 28 年度は下都賀教育事務所・安足教育事務所管内が優先地区となります。

【問い合わせ先】 生涯学習課ふれあい学習担当 TEL 028-623-3404



とちぎ子どもの未来創造大学が開校しました

(平成 27 年度とちぎ子どもの未来創造大学スタートアップ講座)

平成 27 年 7 月 12 日（日曜日）、栃木県教育会館で、平成 27 年度とちぎ子どもの未来創造大学のスタートアップ講座を開催し、県内の小学校 4 年生～中学校 3 年生と保護者など約 1,000 名が来場しました。

スタートアップ講座では、ガイダンス、開校式、特別講座が行われました。ガイダンスでは、とちぎ子どもの未来創造大学の 1 年間の流れについて紹介いたしました。

また、開校式では知事・学長（県教育長）の他、特別講座の講師である生物学者長沼 毅^{たけし}先生にも御登壇いただき、「今まで行った国で一番印象に残っている国とその理由」などインタビューを行いました。長沼先生は一番印象に残っている国として、南極をあげられました。南極は、どこの国の領土でもなく、渡航をしてもパスポートに記録が残らないため、帰国後に空港職員から不思議な反応をされるそうです。

最後に、長沼先生の特別講座として、「生命のふしぎ、進化のふしぎ」の演題で、深海に住む生物の不思議についてお話いただきました。学生たち（小 4～中 3 の子どもたち）は、日頃見ることのない生物の写真や意外な特徴に、驚きの声をあげていました。質疑応答では学生たちから沢山の質問がされました。

受講後のアンケートでは、学生たちから、「長沼先生にもっと色々なことを教えてほしい」、「さらに深海生物について知りたい」などの感想があり、自分の興味・関心をもった事について更に学んでいきたいと感じたようです。

とちぎ子どもの未来創造大学では、そこでしか見られないこと、体験できないこと、そこでしか学べないことについて、「本物」を通して、学びを深め広げていきます。12 月まで 56 機関の御協力のもと、昨年度開設した理系 4 コースに加え、今年度は文系 3 コースに課題追究方法を学ぶ、学び方コースを加えた計 8 コース 133 講座が行われる予定です。



開校式（インタビュー）



長沼毅先生特別講座

【問い合わせ先】 生涯学習課生涯学習振興担当 TEL 028-623-3408

URL : <http://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/kodomo-daigaku/>



第 77 回国民体育大会栃木県準備委員会第 2 回総会が開 催されました

平成 27 年 7 月 13 日に第 77 回国民体育大会栃木県準備委員会第 2 回総会が開催され、県・市町村及び関係機関・団体の代表者約 180 名に御参集いただき、盛大に行われました。

総会の前に開催された第 3 回常任委員会では、会場地市町村第 2 次選定が承認され、第 1・2 次選定を合わせ、これまでに正式競技 37 競技、特別競技 1 競技のうち、20 競技を 15 市町村での開催が内定となりました。また、現在調整中の競技については、今年度内を目途に会場地市町村選定を進めて参ります。

総会では会長の福田知事から、市を代表して佐野市長、町を代表して野木町長、(公財)栃木県体育協会小林理事長に会場地市町村・競技団体をつなぐシンボルとして、国体旗を贈呈しました。また、ポスターやリーフレットなどの広報啓発グッズを出席者に配布しました。今後は、ポスターを県内の小・中・高等学校及び体育施設などへ配布し、平成 34 年の第 77 回国民体育大会を周知していきます。

7 年後の国体が、栃木県の魅力・実力を最大限発信できる大会になるよう、鋭意準備をしていきます。



国体旗の贈呈の様子

(写真左から小林県体協理事長、福田知事、
岡部佐野市長、真瀬野木町長)



国体PRポスター

【問い合わせ先】 国体準備室総務企画担当 TEL 028-623-3522



お知らせ

栃木県奨学のための給付金（公立）について ～申請はもうお済みですか？～

栃木県では、高等学校等の授業料以外の教育に必要な経費の負担軽減を目的として、一定の要件を満たす世帯（生活保護受給世帯・市町村民税所得割が非課税の世帯）に対し、給付金を支給します。

支給を受けるには、申請が必要です。

申請期限は7月末でしたが、申請がまだお済みでない方がいましたら、在籍する高校または教育委員会事務局総務課に、至急、御相談ください。

○支給対象者 7月1日時点において、次の1～3の全てに該当する世帯の保護者等

- 1 保護者等が栃木県内に住所を有すること。
- 2 公立の高等学校、高等専門学校（第2学年まで）に在学する高校生等がいること。
（平成27年度は1～2年生が対象です）
- 3 次のいずれかに該当すること。
 - ア）生活保護受給世帯であること（生業扶助が措置されていること）
 - イ）保護者全員の当該年度（前年所得分）の市町村民税所得割が非課税であること

詳しくは、総務課ホームページをご覧ください。

http://www.pref.tochigi.lg.jp/m01/education/gakkoukyouiku/koutou/kyuufukin_k.html

【問い合わせ先】総務課企画調整担当 TEL 028-623-3355



お知らせ

文書館常設展の展示替えについて

県立文書館では、県庁南館2階の文書館展示室にて常設展を開催しています。この度、常設展の内容をリニューアルしましたのでお知らせいたします。

平成27年度は、「文書の時代の学び」、「江戸時代—文書の時代へ—」、収蔵史料の紹介「小宅定一郎家文書」の内容で常設展示を構成しました。

常設展は、平日の9時から17時までご覧いただけます。



常設展の様子

○県立文書館「常設展」のページはこちら

URL <http://www.pref.tochigi.lg.jp/m58/education/bunka/monjyokan/jousetsuten2012.html>

【問い合わせ先】 栃木県立文書館 TEL 028-623-3450



人権に関する作文を募集します

■趣 旨

日頃の生活の中で、様々な人権問題や差別のない望ましい人間関係づくりの大切さについて考えたことなどを題材とした、一人一人の人権を尊重し合い共に生きる社会づくりへのメッセージとなるような作文を募集します。

■応募資格

県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校に在籍する児童生徒とその保護者

■応募方法

児童生徒の方は、題名・学校名・学年・氏名（ふりがな）を、保護者の方は、題名・氏名（ふりがな）とお子さんの所属学校名を原稿用紙 1 枚目の右側欄外に明記し、所属の学校が決めた応募期限までに、学校に提出してください。

原稿枚数は、以下のとおりです。

小学生	低学年	400字詰原稿用紙 (書きやすい原稿用紙の使用可)	2枚程度
	中学年	400字詰の原稿用紙	2～3枚
	高学年	400字詰の原稿用紙	3枚
中学生・高校生		400字詰の原稿用紙	3～5枚
保護者		400字詰の原稿用紙	3～5枚

人権に関する文集「あすへのびる」



☆詳細については、各学校に配布されている「人権に関する作文募集要項」をご覧ください。

■表 彰

入賞者の表彰式は、平成 27 年 11 月 14 日（土曜日）に真岡市総合体育館で行われる「ヒューマンフェスタとちぎ 2015 in 真岡」で行う予定です。

人権に関するイラストを募集します

■趣 旨

家族・友達などとの関係、身近なできごとをテーマに、一人一人の人権が尊重された明るい社会づくりに向けてのメッセージとなるような作品を募集します。

■応募資格

県内の中学校、高等学校、特別支援学校に在籍する生徒

■応募方法

○用紙 ハガキサイズ（100×148mm）から A 4 サイズ（210×297mm）に収まるように描いてください。
縦・横は問いません。

○画材 描画材料は自由（カラー、白黒の作品どちらでも可）

☆パソコン等の機器を用いた作品の応募はできません。

☆作品に、文字は入れないでください。

☆一人 1 作品の応募とし、自作で未発表の作品に限ります。

☆詳細については、各学校に配布されている「人権に関するイラスト募集要項」をご覧ください。

■表 彰

入賞者の表彰は、人権に関する作文の表彰と一緒にを行います。

■展 示

入賞作品は、平成 27 年 12 月 11 日（金曜日）から 18 日（金曜日）の 1 週間県庁本館 15 階に展示します。



平成 26 年度イラスト入賞作品

【問い合わせ先】 総務課人権教育室 TEL 028-623-3363



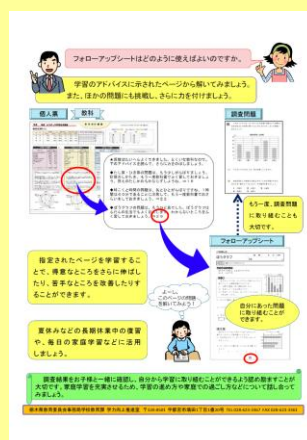
お知らせ

平成 27 年度とちぎっ子学習状況調査の結果（速報）及び今後の取組について

平成 27 年 4 月 21 日に実施した、[とちぎっ子学習状況調査の結果（速報）及び今後の取組について](#)、県のホームページに掲載しましたので、ご覧ください。

今後、調査の結果を精査、分析し、その内容を詳細なデータとともに「とちぎっ子学習状況調査報告書」にまとめ、8 月下旬にお知らせします。

また、調査結果資料の活用促進を図るため、調査を受けた児童生徒の保護者に対して、個人票やフォローアップシート等と併せて以下の資料「配布される資料とその使い方（[小学校 4 年](#)）・（[小学校 5 年](#)）・（[中学校 2 年](#)）」を配布しました。



【問い合わせ先】 学校教育課学力向上推進室 TEL 028-623-3367



お知らせ

スクールカウンセラーの募集について

県教育委員会では、学校における教育相談体制の充実を図るため、次の資格要件により、平成 28 年度のスクールカウンセラーを募集いたします。

【スクールカウンセラー】

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 臨床心理士
- (2) 精神科医
- (3) 心理学関係の大学教授、准教授、常勤講師

【スクールカウンセラーに準ずる者】

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学院修士課程を修了し、教育相談業務等を 1 年以上経験した者
- (2) 大学(短大を含む)を卒業し、教育相談業務等を 5 年以上経験した者
- (3) 医師で、教育相談業務等を 1 年以上経験した者

＜申込み方法＞

「スクールカウンセラー希望申込書」を[こちら](#)からダウンロードし、資格要件等を確認の上、必要事項を記入し、11 月 6 日（金曜日）までに下記宛て郵送してください。

栃木県教育委員会事務局学校教育課

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田 1-1-20 TEL 028-623-3392 FAX 028-623-3399



平成 28 年度栃木県立中学校生徒募集について

平成 28 年度栃木県立中学校第 1 学年生徒を次のとおり募集します。

1 入学志願資格

県立中学校に入学を志願することができる者は、入学時に保護者（親権を行う者、親権を行う者のないときは未成年後見人をいいます。）と共に県内に居住する者又は居住見込みの者で、平成 28 年 3 月 31 日までに小学校若しくは特別支援学校の小学部を卒業見込みの者等とします。

2 募集定員

募集定員は、次のとおりとし、当該募集定員に対する男女の割合は、そのいずれかが 6 割を超えないものとします。ただし、適性がある者を選定する際、男女いずれかが 4 割に満たない場合は、この限りではありません。

栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校	105 名
栃木県立佐野高等学校附属中学校	105 名
栃木県立矢板東高等学校附属中学校	70 名

3 通学区域

通学区域は、県内全域とします。

4 出願

出願については、1 校に限るものとします。

(1) 出願期間

平成 27 年 11 月 30 日（月曜日）から 12 月 3 日（木曜日）まで

(2) 出願書類の提出先

入学を志願しようとする県立中学校

(3) 出願書類

ア 入学願書

イ 受検票

ウ 学習や生活の記録

エ 受検票送付用封筒

オ 入学予定者選定結果通知送付用封筒

カ 転居に関する申立書・転居を証明する書類（該当者のみ）

(4) 出願書類の配付時期及び場所

平成 27 年 10 月 1 日（木曜日）から、入学を志願しようとする県立中学校等で配付します。

詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

【問い合わせ先】 学校教育課小中学校教育担当 TEL 028-623-3392



高等特別支援学校の校名案が決まりました

栃木県では、軽度の知的障害がある生徒の職業的な自立支援を強化するため、来年4月、本県初となる職業学科を設置した高等特別支援学校の開校を予定しています。

平成27年6月2日（火曜日）に開催された栃木県教育委員会定例会において、下記のとおり、校名案が決まりました。

○校名案

「栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園」

○命名の趣旨

宇 都 宮：宇都宮の中心市街地において、共生社会の基盤づくりを推進する。

青 葉：高校生の若々しさと、可能性を秘めた芽が広がっていくことがイメージでき、未来に夢を持つことのできる名称であり、清新さが感じられる。学校の特色と一致している。

高等学園：新しいタイプの高等部単独の特別支援学校である。

※ 校名案については、栃木県議会 12 月通常会議において「栃木県立学校の設置及び管理に関する条例」の改正案件として上程し、議決により正式決定されます。学校設置までの期間については、「栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園（仮称）」として使用します。

【学校概要】

○対 象 者 軽度の知的障害のある生徒で、
公共の交通機関等により自力
通学が可能な者

○学校規模 生徒数 240 人

（1 学級 8 人 × 10 学級 × 3 学年）

○設置学科 職業科 { 流通・環境コース（流通、小売、環境美化等に関すること）
食品・福祉コース（食品製造、高齢者介護等に関すること）

○設置場所 宇都宮市京町（宇都宮工業高校旧敷地）

○開 校 平成 28 年 4 月予定



【完成予想図】

【問い合わせ先】 特別支援教育室高等特別支援学校整備担当 TEL 028-623-3428



県立図書館からのお知らせ

県民の皆様が生のお楽を楽しむ場を提供するため、当館では大谷石造りのホールでライブコンサートを開催しております。第 150 回のコンサートをおのとおりに開催しますので、お誘い合わせの上、御来館ください。

県立図書館第 150 回「県民ライブコンサート」

- | | | |
|----|-------|---|
| 1 | 開催日 | 平成 27 年 9 月 27 日（日曜日） |
| 2 | 会 場 | 栃木県立図書館 1 階ホール
宇都宮市塙田 1－3－23 |
| 3 | 内 容 | 題名のある音楽会 Vol. 3 ～狭間の名曲～ |
| 4 | 出演者 | 斎藤享久（エルベ音楽院代表）
八巻一康 他 |
| 5 | プログラム | ディヴェルティメント K. V. 213 W. A. モーツァルト／作曲
交響曲第 25 番 K. V. 183 W. A. モーツァルト／作曲 他 |
| 6 | 開 演 | 午後 2 時開演（午後 1 時 30 分開場） |
| 7 | 定 員 | 約 80 名（先着順） |
| 8 | 申 込 | 不要 |
| 9 | 入場料 | 無料 |
| 10 | 主 催 | 栃木県立図書館 |
| 11 | その他 | お車でお越しの際は、県庁地下駐車場を御利用ください。 |

※ 小オーケストラによるコンサートです。素敵なひとときをお過ごしください。



エルベ音楽院演奏風景

【問い合わせ先】 栃木県立図書館 調査相談課 TEL 028-622-5112

北杜夫・マンボウ思い出の昆虫展

北杜夫の文学の根源は、幼少期より親しんだ「昆虫」にあるとし、父・茂吉の短歌に表れた昆虫を作品とともに展示し、北杜夫のエッセイの中からそれら昆虫についての記述を併せて紹介しています。茂吉の短歌は、次男の宗吉（北杜夫）が編さんした歌集『白き山』から主に選歌しました。

また、昆虫エッセイの最高峰『どくとるマンボウ昆虫記』全20章の中から12章を選び、そこに登場する虫たちの実物を展示しています。

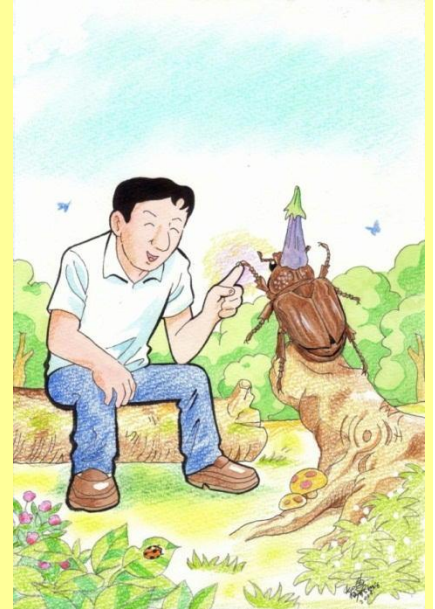
展示期間中、展示テーマ関連の講演と語り手による語りも予定していますので、是非御来館ください。

（昆虫展）

- | | |
|---------|----------------------------|
| 1 展示期間 | 平成27年7月19日（日曜日）～10月3日（土曜日） |
| 2 展示会場 | 栃木県立図書館1階ロビー |
| 3 展示品作成 | 新部公亮（日本昆虫協会理事） |
| 4 展示協力 | 栃木県県民の森「マロニエ昆虫館」 |

（講演会＆語り）

- | | |
|--------|---|
| 1 日 時 | 平成27年8月29日（土曜日）
午後2時～3時30分 |
| 2 会 場 | 栃木県立図書館1階ホール |
| 3 内 容 | 講演「斎藤家の虫談義」
語り『どくとるマンボウ昆虫記』より
「詩人の蝶」「神聖な糞虫」 |
| 4 出演者 | 講師 新部公亮（日本昆虫協会理事）
語り手 伊藤しのぶ |
| 5 開 演 | 午後2時開演（午後1時30分開場） |
| 6 定 員 | 約80名（先着順） |
| 7 申 込 | 不要 |
| 8 入場料 | 無料 |
| 9 主 催 | 栃木県立図書館 |
| 10 その他 | お車で越しの際は、県庁地下駐車場をご利用ください。 |



【イラスト：小林準治】

《プロフィール》

新部 ^{こうすけ}公亮（講師、展示品作成）

日本昆虫協会理事。栃木県職員。第二の名刺で昆虫展示会等を企画・運営し、これまでに海外4回を含め、100回以上の展示会を全国規模で展開中。

伊藤 しのぶ（語り手）

埼玉で人形劇団を30年間主管し、語り手としても米国・日本で活躍。2004年から9年間、中学英語の講師として矢板市で暮らす。語りの持ちネタは100話以上。台本を全く見ず、情感を込め語る様は圧巻。

【問い合わせ先】 栃木県立図書館 企画協力課 TEL 028-622-5113



芳賀青年の家からのお知らせ

「ふるさと体験隊」

「ふるさと探検隊」は、様々な体験活動を通して、子どもたちが「本物」に触れる学習の機会を増やし、地域文化の再発見をすることで、地域に対する興味や愛着、誇りを持つことを目標としています。

また、環境に関する体験を実施することにより、自然への畏敬の念、環境の保全等への興味や関心、環境を守ろうとする活動に進んで参加しようとする態度を育むことを目標としています。

3回目の活動は親子での泊を伴う日程とする予定です。

楽しくて充実した体験活動を計画しておりますので、ぜひ親子で実り多い時間を体験・共有してみたいかと思うか。

皆様からの御応募をお待ちしております。



1 期 日：第1回 9月12日（土曜日）

（ピザの生地作り、トッピング、焼き・西明寺見学・手びねり陶芸等）

第2回 10月12日（月曜日・祝日）

（益子産綿の種切り、糸つむぎ体験、ミサンガ作り・オカリナコンサート鑑賞、オカリナ演奏体験等）

第3回 11月7日（土曜日）～8日（日曜日）1泊2日

（蕎麦打ち、ろくろ陶芸の選択・デザート作り・ウォークラリー・西明寺見学・音楽と読み聞かせコラボ等）

2 対 象：小学生のいる親子

3 定 員：各回20組（募集は先着順になります。）

4 概 要：この事業は、国立青少年教育振興機構が行っている「平成27年度地域ぐるみで体験の風をおこそう運動推進事業」に応募し、採択された事業です。主催は地域の方々を中心に結成された「だいすきましこ！実行委員会」で、主管が「栃木県芳賀青年の家」となっております。

「楽しい手びねり陶芸」

3回シリーズの主催事業です。1回目は器や飾り物、小物などを自由に作ります。2回目は絵付けと釉薬がけを行って、自分だけの素敵な作品を完成させます。3回目は鑑賞会を行います。

例年行われている主催事業ですが、今年も陶芸作品を自分で作ってみたい方、講師の先生から直接、指導を受けたい方など、陶芸に興味がある方の応募をお待ちしております。陶芸の里益子で、手びねりや絵付け、釉薬がけをぜひ体験してみませんか。

- 1 期 日：第1回 11月14日（土曜日）
第2回 12月5日（土曜日）
第3回 12月12日（土曜日）
- 2 対 象：3回とも参加できる成人
- 3 定 員：30名



成形時の様子

問い合わせ先 栃木県芳賀青年の家

〒321-4217 芳賀郡益子町益子4470

TEL:0285-72-2273 FAX:0285-72-7434

URL <http://www.pref.tochigi.lg.jp/m61/education/shougai/kanrenshisetsu/haga-top.html>



お知らせ

太平少年自然の家からのお知らせ

太平少年自然の家では、太平山の自然を生かしたイベントを多数企画しております。皆様の御応募お待ちしております。

「わくわくハッピーピザ作り」

- 1 開催日時：第3回 平成27年9月26日（土曜日）
第4回 平成27年11月28日（土曜日）
両日とも 受付9時20分 解散13時00分
- 2 対 象：県内3歳以上の子どもを含む親子やグループ
- 3 定 員：30名（定員を超えた場合は抽選）
- 4 費 用：ひとり500円（食材・湯茶・燃料代・保険料を含む）
- 5 応募期間：第3回 平成27年8月27日（木曜日）～9月9日（水曜日）
第4回 平成27年10月29日（木曜日）～11月11日（水曜日）

ピザは一人1枚作ります。生地作りから始め、石窯で焼き上げます。

手作りピザに挑戦してみましょう。



発酵した生地を延ばしています



焼きたてのピザのおいしさに思わず笑顔です

「踏破だ！太平山」

- 1 開催日時：11月7日（土曜日）～8日（日曜日）
- 2 対象：県内の小学3年生～6年生
- 3 定員：25名（応募多数の場合は抽選）
- 4 費用：4,000円程度
- 5 募集期間：10月1日（木曜日）～10月14日（水曜日）（必着）
※4,000円には、食事代、保険料、活動用具費などが含まれます。



頂上目指してがんばろう！



みんな笑顔でゴール

太平山とその周辺のチャレンジハイキングや自然遊びを体験します。秋の太平山の景色を眺めながら15kmの山道をみんなで歩いてみましょう。

主催事業の詳細は、太平少年自然の家のホームページで御確認ください。

問い合わせ・申込みは・・・ 栃木県立太平少年自然の家

〒328-0054 栃木市平井町638

TEL：0282-24-8551 FAX：0282-24-8569

URL：<http://www.pref.tochigi.lg.jp/m62/education/shougai/kanrenshisetsu/ohira-top.html>

すべてのイベントの申込みは「はがき」または「FAX」で受け付けております。



お知らせ

とちぎ海浜自然の家からのお知らせ

とちぎ海浜自然の家ではイベントを多数企画しております。
皆さまの御応募お待ちしております。

「海浜フィットネス」

アクアビクスやズンバ、ボディコンバットなど、専門の講師を招いて活動を行います。運動を楽しむ行うことを通して、家族や仲間との親睦を深めるとともに、体力向上や健康に対する意識の高揚を図ります。

- 1 開催日時：9月26日（土曜日）～27日（日曜日）
- 2 対象：栃木県民一般
- 3 定員：150名
- 4 参加費：大人：5,900円
高校生：4,500円
中学生：3,700円
小学生：3,500円
3歳以上学齢前：2,700円
3歳未満：300円
- 5 応募期間：募集中 ～ 8月31日（月曜日）



アクアビクス

「海浜わくわくキャンプ」

テント設営やテント泊、野外調理やカニ釣り等の様々な体験活動を通して、家族や仲間と協力することの大切さや必要性を体感するとともに、自然の中でたくましく生きるための知識・技能の習得を図ります。

- 1 開催日時：10月10日（土曜日）～11日（日曜日）
- 2 対 象：栃木県民一般（小学生以上）
- 3 定 員：15組（応募多数の場合は抽選）
- 4 参 加 費：大 人：4,900円
高校生：4,500円
中学生：4,300円
小学生：4,200円
- 5 応募期間：募集中～9月14日（月曜日）



カニ釣り

「海浜秋まつり」

旬の味覚のさんまや地元特産のさつまいもを味わい、季節を感じながら、家族・仲間のふれあいをより一層深めます。おまつり広場では創作活動やさんまの網焼き、マグロの解体ショーなど、楽しい活動をたくさん御用意しています。

- 1 開催日時：10月24日（土曜日）～25日（日曜日）
- 2 対 象：栃木県民一般
- 3 定 員：200名（応募多数の場合は抽選）
- 4 参 加 費：大 人：6,400円
高校生：5,000円
中学生：4,200円
小学生：4,000円
3歳以上学齢前：3,200円
3歳未満：300円
- 5 応募期間：8月24日（月曜日）～9月28日（月曜日）



さつまいも掘り

問い合わせ・申込みは・・・ とちぎ海浜自然の家

〒311-1412 茨城県鉾田市玉田336-2

TEL：0291-37-4004 FAX：0291-37-4008

メールアドレス：kaihin-info@tmf.or.jp（申込み専用）

URL：http://homepage3.nifty.com/tochigikaihin/

すべてのイベントの申込みは「電話」「はがき」「FAX」「メール」で受け付けております。



お知らせ

なす高原自然の家からのお知らせ

なす高原自然の家では様々な主催事業を企画しております。
皆様のご応募お待ちしております。

◆「第2回 エンジョイネイチャー ～初心者のための登山教室～」◆

親子で那須岳の紅葉を楽しんでいただく登山コースです。茶臼岳の周囲を廻って姥ヶ平に降り、美しく雄大な茶臼の後ろ姿を眺めます。

開催日時 : 10月10日(土曜日)～10月11日(日曜日)
対象 : 健康に不安のない成人(登山初心者)
定員 : 30名(応募多数の場合は抽選)
費用 : 7,500円
応募期間 : 8月10日(月曜日) ～ 9月10日(木曜日)



ひょうたん池から望む茶臼岳

◆「こどもチャレンジキャンプ」◆

ロープワーク、基地作り、炭焼き、食器・スプーン作り、空き缶ご飯、キャンプファイヤーなど様々な体験活動を通して、仲間をすること、協力することの大切さを学び、たくましく生き抜く力を身につけます。

開催日 : 11月21日(土曜日)～11月23日(月曜日)
対象 : 県内在住の小学5・6年生
定員 : 40名(応募多数の場合は抽選)
費用 : 4,000円
応募期間 : 9月21日(月曜日)～10月21日(水曜日)



空き缶で炊いたご飯



キャンプファイヤー

◆「自然の家わくわく体験デー」◆

日帰りで、自然の家の様々なプログラムを体験します。

対 象 : 県内在住の親子 定 員 : 15 組 (応募多数の場合は抽選)

第 1 回 ピザ作り & 丸太絵

内 容 : ダッチオーブンを使ってピザ作りに挑戦した後、那須在住の木工作家、平井良児さんから丸太絵作りを教えてください。

開 催 日 : 11 月 1 日 (日曜日)

費 用 : 一人 1,000 円 (ただし、3 歳未満は無料)

応募期間 : 9 月 1 日 (火曜日) ~ 10 月 1 日 (木曜日)

第 2 回 パエリア & 創作活動 (選択)

内 容 : スペインの家庭料理パエリア作りの後、木の実クラフト、木製壁掛け、焼き板から活動を 1 つ選択して体験します。

開 催 日 : 12 月 6 日 (日曜日)

費 用 : 一人 1,000 円 (ただし、3 歳未満は無料)

応募期間 : 10 月 6 日 (火曜日) ~ 11 月 6 日 (金曜日)

第 3 回 スノーシューハイキング (小学生以上)

内 容 : 自然の家の冬の定番プログラム。スノーシュー (西洋かんじき) をはいて、自然の家周辺のハイキングコースを廻る活動です。

開 催 日 : 2 月 7 日 (日曜日)

費 用 : 中学生以上 : 1,000 円 小学生 : 500 円

応募期間 : 12 月 7 日 (月曜日) ~ 1 月 7 日 (木曜日)

問い合わせ・申込みは・・・ なす高原自然の家

〒325-0301 栃木県那須郡那須町湯本157

TEL : 0287-76-6240 FAX : 0287-76-6241

URL : <http://windy-nasu.jp>

すべてのイベントの申込みは「電話」「はがき」または「FAX」で受け付けます。



シリーズ1 とちぎの歴史街道ものがたり

前は栃木県にゆかりの深い日光道中について取り上げましたが、今回は栃木県の街道そのものをテーマに取り上げることとします。

【第2回 五街道と脇街道】

徳川家康は江戸に幕府を開くと、江戸と各地をつなぐ街道の整備に乗り出します。もともとあったそれまでの街道をさらに整備する形で進めますが、幕府にとって特に重要な道路を幕府が管理する道路としました。日本橋を基点とした、日光道中、奥州道中、東海道、中山道、甲州道中の5つの街道は「五街道」と呼ばれました。栃木県内にはそのうち2つの街道があったわけです。宇都宮宿以南の奥州道中は日光道中と重なっていますが、日光東照宮への道であり、もっとも重要視されたのが日光道中なので、日光道中と呼ばれています。

もちろん五街道以外にもたくさんの街道があります。同じように幕府が管理した街道も多く、これらは「脇街道」や「脇往還」と呼ばれました。栃木県内の街道では「日光例幣使道」や「関宿通多功道」、「会津西街道」などがこれにあたります。

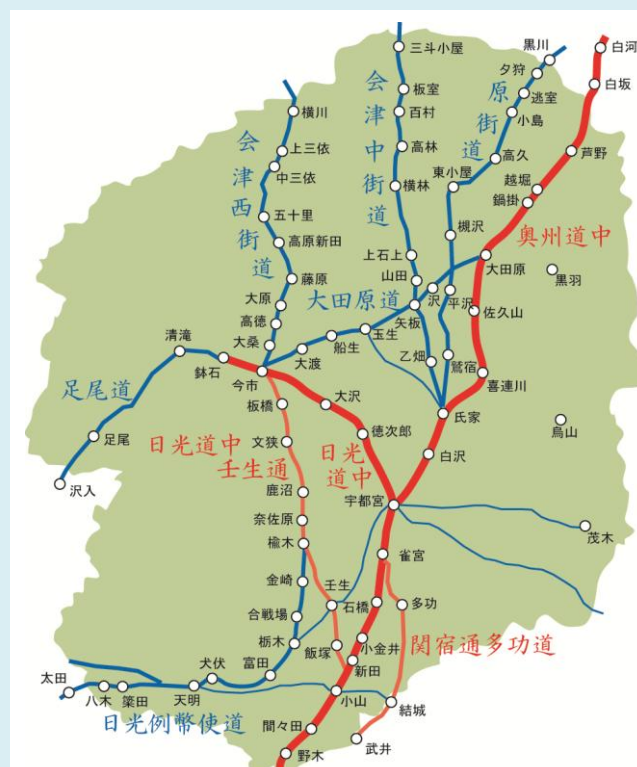
さて、日光道中ですが、今は日光「街道」という名前の方が聞き覚えがあると思います。古い記録を見ると日光「海道」という名前もあります。

「街道」であったり「海道」であったりしたのですが、よみは同じ「かいどう」です。ややこしいようですが、実は、それぞれの正式な名前は江戸幕府がお触れを出して決めています。正徳6年（1716年）に「五街道文字之事」という通達が出されました。東海道は海のそばを通るので「海道」でよい。奥州街道、日光街道、甲州街道は山の中を通るので「道中」と呼びなさいという内容でした。それが必ずしも守られなかったのは現在の道が日光「街道」と呼ばれることが多いので、よくわかりかと思いますが。結局、幕府のお触れもそれまでの呼び方には勝てなかったのです。

なお、宇都宮には「海道町」という道に由来した地区もあります。ここは昔の奥州道中が通過しているところです。奥州街道の宿場である白沢宿（宇都宮市白沢町）へ向かう道なので、道そのものは「白沢街道」と現在呼ばれていますが、並木も残り風情がある景色が続きます。さくら市喜連川の奥州道中など、県内にはいくつか旧街道がほぼそのまま残されているところもあります。江戸時代の旅人の気分になって歩いてみてはいかがでしょうか。



五街道



栃木県内の街道



シリーズ2 県埋蔵文化財センターの一品

その2 「縄文犬」－栃木市藤岡神社遺跡出土イヌ形土製品 縄文時代後期～晩期－

「わん！」と元気よく吠えているこの「縄文犬」は、栃木市藤岡町の藤岡神社遺跡から出土したイヌ形土製品です。藤岡神社遺跡は、渡良瀬川下流域下水道大岩藤浄化センター建設に先立ち平成3年度から7年度にかけて埋蔵文化財センターが発掘調査を行いました。その結果、この遺跡は、縄文時代前期から晩期（今から約6,000年から2,500年前）のもので、規模は東西約100m・南北約100mもあることが分かりました。



イヌ形土製品

この「縄文犬」は、縄文時代後期後半から晩期の初め頃（今から約4,000～3,000年前）に作られたようです。体長は約16cm、高さは約7.6cm。手の平にのりそうなぐらいの小ささです。左耳が欠けていましたが、それ以外はほぼ完全な姿で残っています。耳はピンと、しっぽはくると曲線を描いて立ち、前足を踏ん張りながら、口を大きく開けた姿からは、「わんっ わんっ」と大きな鳴き声が聞こえてきそうです。ところで、この「縄文犬」はなぜ一生懸命吠えているのでしょうか？ それにはちゃんとした理由がありました。

人と犬とのつきあいは、縄文時代早期（約7200年前から7300年前）まで遡ることができます。縄文時代の遺跡では丁寧に埋葬された犬が多く発見されていて、中には生きている間に歯が抜けたり骨折したりしているものもあります。このケガは、人間と共に獲物を追い、吠え立て、噛みつき、時に獲物の反撃に遭ったことによるものと考えられています。つまり、縄文時代の犬は猟犬として活躍し、縄文人はその功績に応えるためケガを負っても大切に飼い、亡きがらを丁寧に葬ったのでしょう。藤岡神社遺跡ではイノシシ形などの土製品も出土していますので、この「縄文犬」はイノシシを追い立てて吠えているのかもしれませんが。

藤岡神社遺跡でも、縄文時代後期（約3,000年前）の埋葬された犬の頭骨が発見されています。これをもとに作成されたのが復元模型の「藤丸」です。年齢は2歳、体高（肩までの高さ）は37cmで柴犬ぐらいの大きさです。オオカミやキツネと同じように額から鼻にかけての部分がなだらかで、この部分が段になっている現代の犬とは顔つきが違ってきます。また、足が太く短いのも縄文犬の特徴です。



縄文犬復元模型「藤丸」

縄文人にとって狩りの大切なパートナーだった縄文犬。

ひょっとすると現代の私たちと同じような気持ちで犬と接していたのかもしれませんが。この「縄文犬」ことイヌ形土製品は、縄文時代の精神生活を知る上で貴重な出土品として、他の出土品とともに国の重要文化財に指定され、県立博物館で展示中です。ぜひ会いに行ってみてください。

【お問い合わせ】

埋蔵文化財センター 普及資料課 〒329-0418 栃木県下野市紫 474

TEL 0285-44-8441 FAX 0285-44-8445 <http://www.maibun.or.jp/>